

# 第23回ミニ相談会 開催報告

【日 時】 平成26年5月23日（金） 10:30～11:55  
 【場 所】 いわき地域復興センター  
 【講 師】 一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー 渡邊 弘幸 氏  
 【参加人数】 7名（男性6名 女性1名）

今回のミニ相談会では、3年前の東日本大震災から今日まで、行政がどのような取り組みをしてきたのか、時間の経過に沿って農業・観光分野を中心にお話いただきました。

<第23回ミニ相談会テーマ>

## 「震災から3年目の節目を迎えるまでの行政の 取り組みについて ～農業と観光の復興の道のり～」

### 1. 講師の先生のお話

#### 【1】いわき市の復興に向けた歩み

- ・2011年3月11日～2013年3月頃までについての  
いわき市の取り組み
  - ▶ いわき市の復興に係る事業展開
  - ▶ 観光施設の復旧状況等

#### 【2】農業分野に関する対応

- ・見える課プロジェクトの始動
- ・農作物の検査状況
- ・農作物の出荷制限について  
(見せます！いわき情報局)



<講師：渡邊 弘幸 氏>

期日	事業展開	観光施設の復旧等
2011年 3月11日	東日本大震災	
4月 9日	がんばっぺ・いわき！オール いわきキャラバン(いわき駅前)	
4月11日	大規模余震	
4月12日	大規模余震	
4月12日	がんばっぺ・いわき！オール	
13日	日本キャラバン(S.L.広場)	
4月～	風評払拭キャンペーン	6月からサンプル採取・農地 空間線量測定
7月15日		アクアマリンふくしま再開
20日		石炭・化石燃料の再開 滝巻の里センター再開
10月 1日	がんばっぺ！いわき復興祭 (市制施行45周年)	ハワイアンズ(一部)再開
2日		見える化プロジェクト始動
11月25日		いわき・ら・ら・ミュウ再開
2012年 1月	いわき・ときわ観光推進キャンペーン	
2月 8日		ハワイアンズ・グランドストア・ブン
2月12日	第3回いわきサンシャインマラソン	
4月～	風評払拭キャンペーン	農産物モニタリング体制始動
5月	団体旅行誘客キャンペーン	
7月16日	勿来海水浴場開設(～8月12日)	
8月	がんばっぺ・いわき week(都内)	
8月13日	復興支援・観光案内所開設	
9月	地域観光力支援事業(市内)	米の全量全袋検査開始
10月 1日		見せます！いわき情報局 見える農(見せる農)開設
10月 6・7日	いわき小浜南・みなとフェスティバル	見える課バスツアー・TVCM
10月	ネットクーポン活用誘客キャンペーン	
11月13日	いわきサンシャイン観光推進特 区認定	首都圏量販店とのタイアップ キャンペーン、さんま祭り
2013年 1月	いわき・ときわ観光推進キャンペーン	
1月 7日	いわきサンシャイン観光推進特 区受付開始	とうこそ、いわきへ！“出版 いちご葉書”
2月10日	第4回いわきサンシャインマラソン	

<講師資料抜粋>

## 2. 質問コーナー・交流タイム

ミニ相談会の中で、講師の先生を中心に参加されたみなさんが普段感じていることや、生活の中で気になっていることなどを質問したり、自由に話し合ったりしました。その中で出た意見・質問等をご紹介します。

### Q. (農作物の) 出荷制限解除の判断基準は？

A. 100Bq/kg を超えないこと。解除の権限を持っているのは国であるため、県の測定結果を国に報告し、問題がなければ解除します。解除までの期間は決まっていません。

### Q. 自家消費作物の検査は何年くらい続けるのでしょうか？

A. 放射能問題が収束するまで続けるものと考えています。

### Q. 30年後にどのような放射線の影響が出ると考えられますか？

A. はっきりは分からない状態なので、検査を続けていくことが必要だと考えます。ホールボディカウンター検査は、以下の場所で受けることができます。

#### 【放射線健康管理センター（保健所内）】

電話番号：0246-27-8562

検査可能日時：平日（月～金） 9:00～17:00

所要時間：30分程度（受付等を含む、検査時間は数分程度）

費用：無料

#### 【いわき好間コミュニティ検診プラザ（平成26年4月～）】

場所：いわき好間工業団地内

電話番号：0246-84-6602

検査可能日：平日・土・日

### Q. 南相馬市は、放射能問題に対していわき市よりも多く活動を行っているように感じます

A. いわき市でも経済団体を通じて、放医研（放射線医学総合研究所）を誘致するための活動をしています。南相馬市は、震災当時市長がマスコミを使って町の状況を発信しました。それに対し、いわき市は市長のマスコミへの露出が少なかったことは否めません。マスコミに対して、物資の不足を訴えるよりも、風評被害問題のことを先に発信していました。訴える順序が逆ではなかったのかな、と私は思います。しかし、国に訴えるべきことは伝えていますので、その点では南相馬市と変わらないと考えています。

**Q. 原発事故後、いわき市の放射線量が高かった日は何日くらいあったのですか？**

A. 1 日か 2 日程度だったと思います。原発事故の影響に関して福島全体をひとくりにすることができないように、いわき市も広いのでひとつとしてとらえることはできません。しかし、いわき市の北部では除染作業を行っているのは事実です。見えないものを見えるようにし、正しく情報を伝えることが大事だと思います。

**Q. コミック「美味しんぼ」で問題になった表現に対して、いわき市は見解を表明していますか？**

A. 福島県は、抗議をしました。いわき市は現在協議しているところと聞いています。

**Q. 震災被害を受けたいわき市の現状に関して、他地域（特に西日本）ではマスコミで取り上げられることが少ないと思います。もっと県外、東北地域外に対して情報を発信していくべきではないでしょうか？**

A. 可能な限り情報発信は行っておりますが、取り上げられ方が少なくなってきたのは否めないと思います。市内で行うイベントはもちろん、他地域で行う時には詳細なデータをお持ちしたり、チラシを配布したりしておりますが、それらの情報量というのは実際の情報量全体に比べると少ないと思います。風評被害に関しましては、阿部総理大臣が近ごろ福島にいられて根本復興大臣に対策を講じるよう指示しましたので、国も動いてくれるものと期待しております。

～ご参加くださったみなさま、ありがとうございました～

第 24 回ミニ相談会は 6 月 25 日(水) 10 : 30～

いわき地域復興センターで実施します！

興味を持たれた方は、窓口かお電話でお問い合わせ下さい。



<第 23 回ミニ相談会のようす>